

毎週日曜発行
2022 9/18

こども新聞
週刊

がほピョンプレス



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

気温上昇を止めるためには？

ニュース



1.5℃ の約束



気候キャンペーンのロゴ

国連の持続可能な開発

国連広報センター（東京）は今年6月から、河北新報社を含む全国の新聞社、テレビ局などと気候変動への対策を訴えるキャンペーン「1・5℃の約束」をすすめています。気温上昇を止めるために、19日に始まるキャンペーンの強化期間に合わせて、4週にわたり1面で気候変動対策に関する話題や人物を紹介いたします。

食べ残しゼロが一步に



豪雨による洪水に見舞われた人々。8月27日、パキスタン南部シンド州ダドゥ（EPA時事）

目標（SDGs）の17項目の一つは「気候変動に具体的な対策を」です。気候変動は私たちが暮らす地球に関わる人類共通の課題。「1・5℃の約束」には、産業革命前からの気温上昇を、世界の人々が協力して1・5℃に抑えようという願いが込められています。

国連広報センター所長の根本かおるさん(59)は「今年の日本の夏は猛暑が続き、熱中症になったり作物が取れなかったりしたほか、東北は大雨被害に苦しみました。今が気候変動に立ち向かう



企業、市町村、国などがそれぞれの立場で、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスを大幅に減らす必要があります。

「身近にできる対策がたくさんあります。家族、地域の人、学校を巻き込んで行動してください」と根本さん。取り組み例として、食べ残しといった食品ロスをなくす、外出は公共交通機関を使う、服を大切に小さくならない着られる人に譲る、再生可能エネルギーで作った電気を選ぶなどを挙げました。

「身近にできる対策がたくさんあります。家族、地域の人、学校を巻き込んで行動してください」と根本さん。取り組み例として、食べ残しといった食品ロスをなくす、外出は公共交通機関を使う、服を大切に小さくならない着られる人に譲る、再生可能エネルギーで作った電気を選ぶなどを挙げました。

将来を担う子どもたちに、根本さんは特別な期待を寄せています。「キャンペーンを通して、自分たちの行動が社会を変え、課題解決の糸口になることを知ってほしい」



今週の注目ニュース

◇20日（火） バスの日
1903年のこの日、京都市で日本初のバスの営業が始まったことを記念し、日本バス協会が制定したよ。当時は、屋根のない蒸気自動車を改造した車両で、6人乗り。時速約10キロで走行していたんだって。

きょうの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ